

3月23日、バマコ国立警察学校において、平成26年度対マリ無償資金協力「バマコ国立警察学校運営能力強化支援計画」の完了引渡し式が実施され、当館黒木大輔大使、森谷祐司JICAセネガル事務所長、トラオレ・マリ治安省大臣、ジョップ・マリ外務大臣、カマラ国連開発計画（UNDP）マリ事務所長、マリ国連PKOミッション（MINUSMA）関係者等多数が出席し、以下のスピーチが行われました。

◎黒木大使＝「本案件は、2014年の日・マリ二国間協力関係の再開後初の大型案件であるため、日本政府として常々注目をしてきた。この度、無事に完了したことを非常に嬉しく思う。マリ政府におかれては、有効且つ持続的に活用して頂きたい。」

◎トラオレ治安大臣＝「警察学校を生まれ変わらせた日本の支援に感謝申し上げる。日本は本案件の他にも、警察への機材供与や研修等の案件を実施しているが、様々な案件を組み合わせてつマリの平和と安定に貢献する日本の支援は極めて重要である。」

本案件では、我が国とUNDPの連携により、国際的な規準を満たす警察官育成研修を可能とする警察学校を目指し、以下の事業が実施されました。

- ・施設の改修・増築：研修室，講堂，研修生用宿舎，図書館，管理棟，保健センター等
- ・機材の供与：車両，研修教材，機材等
- ・研修の実施：基礎研修，実地研修等30種1000人以上



スピーチをする黒木大使



握手をする黒木大使とトラオレ治安大臣



リボンカット



日本の支援を示す記念碑



日本の支援で建設された警察学校管理棟



日本の支援で建設された警察学校保健センター  
(地域の人々の利用も可能)